

Q 市が独自の補助制度を制定する予定があるのか

A ない。国の「収入保険制度」の周知に努める

角田 義徳



Q 被害状況の調査方法、被害農家数や被害額を聞きたい。また、県より特別災害の認定を受けたが、県当局とどのような調整を行ったのか。

A 台風21号の被害については、県から調査依頼があり、市内4農協への聞き取りのほか、市職員による現地確認により被害調査を実施した。被害報告するにあたっては埼玉県条例の手続きに従って行ったが、すでに長雨によってブロッコリーへの被害が生じており、台風による被害との区別が困難であったことから、十分に協議を行って報告した。

Q 助成措置の内容、適用基準は。

A 防除用の薬剤等の購入費補助を行う。適用基準は、収穫量の30%以上が被害を受けたものである。

Q 被害調査を行った時点以降も被害状況は拡大しているが、今回の災害に関する認定はこれで終了か。

A 県に確認したが、今回の認定までであり、追加での認定はない。



春ブロッコリーの定植風景

―投票率の向上について―

Q 新たな取り組みを考えているか。

A 平成30年1月28日執行の深谷市長選挙において、市内に5つある高校の協力をもらい5力所の期日前投票所に各2名、合計10名の生徒に投票立会人を務めてもらう予定である。

Q 1500人の雇用という数字は深谷市の試算であるが、三菱地所・サイモンとの協議での数字は。

A 協議していない。現在は人材難社会であり、雇用の確保が難しい状況の中で1500人の雇用は現実的か。

Q 求人は三菱地所・サイモンやテナントが行う。既存施設での実績を見ると人材は確保されている。

Q これまで市はプラスの経済効果を主張してきたが、マイナスの経済効果もある。市内商業へ与える影響や地域における大渋滞の影響などがある。同様に地域の労働市場に与える、人材難を更に加速させるということごとの様なマイナス効果があるか調査検討をしたことがあるか。

A 新たな雇用機会が生まれるということではマイナスの効果だとは考えていない。

Q 現在の人材難の状況で1500人の雇用が発生すれば、事業が立ち行かなくなると、市内有数の製造会

Q アウトレットが労働市場に与えるマイナス効果は

A マイナス効果はないと考えている

佐久間 奈々



社社長が言っていたが、市はその認識があるか。ヒアリングは行っているのか。

A ヒアリングは行っていない。三菱が行なうものと考えているが、雇用に関しては、基本的に問題ないと考えている。

Q かなりの従業員駐車台数が必要と思うが何台か。また確保は。

A 三菱地所・サイモンが中心に関係機関と調整を進めているところであり、現在具体的な台数及び場所は決定していない。



Q 深谷市のPRについて

A 市のPR動画を来年3月に完成予定である

茂木 一郎



Q PR動画の進捗状況は。

A 市の知名度及びイメージの向上を図ることを目的に、業務委託により、来年3月完成に向けストーリーの作成や撮影を行う予定である。

Q PR動画の内容は。

A 深谷市外に住んでいる20代から30代の若い世代や子育て世代を対象に、本市の魅力を感じ良好なイメージを持ってもらえる内容で、動画の長さは2分から3分程度の作品及び15秒から30秒程度のショートバージョンの作品を制作する予定である。

Q PR動画の今後は。

A 深谷市魅力発信ポータルサイトやYouTubeへの掲載、報道機関への情報提供等をしていくほか、市外在住の方に動画を視聴してもらえよう民間のプロモーション活動を参考にしながら、行政の枠にとらわれない新たな発想のもとで、動画の効果的な活用を検討していきたい。

Q 定住促進の動画制作の予定は。

A 地域ブランド調査によると深谷



記録映画「わがまち深谷」より

市の認知度は全国1000市区町村中454位、埼玉県40市中16位。当市の認知度はまだ低いと思われる。今後は、今回制作される動画の効果を見極めながら第2弾のシネプロモーション動画や定住促進の動画等の制作を検討している。

Q 市ホームページでも公開の記録映画「わがまち深谷」の事業効果は。

A 図書館・公民館でのDVDの貸出しにより、個人や地域の事業にも活用されている。市内全小・中学校へもDVDを配布している。

Q 図書館本館、岡部、川本、花園3分館の充実・発展を

A 今後とも、図書館サービス全般の維持向上を目指す

清水 修



Q 図書館本館の蔵書冊数が、平成25年度をピークに減少している。減少の大きな要因として収納スペースが手狭になっていると考えられる。収納スペースの確保を。

A 保管場所を確保することを研究する。

Q 市の総合計画で、図書館サービスが充実しているかをみる指標として「市民一人当たりの貸出冊数」としているが、図書館は資料の収集、整理、保存が一体なのだから、一人当たりの蔵書冊数も指標として示すべきだ。

A 図書館サービス全般を示す指標として「一人当たりの貸出冊数」を設定した。蔵書冊数については、決算資料や県図書館協会の指標で公開している。

Q 図書館の貸出冊数、蔵書冊数とも県内の平均より低い。窓口業務と図書整理作業を民間への委託事業としているからではないか。図書館法では、「図書館の職員が、資料につい



深谷市立図書館